

2022-23 年度RI 会長 シェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランドRC) 第2820地区ガバナー大野治夫 (つくば学園RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 9. 1  
第 2025 回例



会長 山口憲生 会長R/ト 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12

9月は基本的教育と  
識字率向上月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



8月21日(日)開催の地区インターアクト年次大会は茨城キリスト教学園高等学校 IAC をホストに、当クラブをそのスポンサークラブに、成功裡に終わることができ地区からも好評を得たとのことです。太田 IAC 委員長はじめ準備に携わった会員(小生私用で欠席、鈴木崇久エレクトに代行を依頼)の労をねぎらうとともに、会場を提供いただいた学園にも感謝申し上げます。なお先日のNHK水戸放送局ニュース番組で、茨城キリスト教学園高等学校・中学校のコーラスがともにNコン(NHK合唱コンクール)の県大会金賞を獲得、その演奏を流していました。まるで「茨キリ」の名が飛び交ったここ一週間のようです。

さて IAC 年次大会も Zoom 兼用のハイブリット開催となったように「新型コロナ対策」は世の中を一変させた感があります、20年ほど前、私が勤務中の会社の社内報に「ユビキタス社会がやってくる」と寄稿したことがあります。世の中コンピューターだらけになる、という意味ですが、今やみんながスマホを欠かせないようになっています。リモートワーク、リモートライブ、見逃しにはアーカイブ、時間と距離が薄削したかのようです。

ロータリーも、全員 My Rotary に登録せよ、ガバナー月信はHPを見よ、各クラブ、HPで発信せよ、などITの世界にどっぷり浸かっているのですから、もうみんなあきらめて、ITリテラシーを身に着けるほかありません。

どうかよろしくお願ひします。さて今日は、地区開催の各委員会研究会に出席(またはリモート参加)された各委員長から簡単にその報告いただき情報共有としたいと思います。地区研究会はクラブと地区との交流の場でもありますので動向確認の意味でもよろしくお願ひします。

例会報告

- 開会点鐘 山口憲生 会長
- 国歌斉唱 「君が代」
- R ソング 「奉仕の理想」
- 唱和 「四つのテスト」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしやいません

今月の誕生日祝い 今野紀仁 親睦活動委員長

- 佐藤邦裕さん (2日)
- 桑名智行さん (11日)
- 宮田秀昇さん (22日)
- 小松茂一さん (27日)
- 鋤柄純忠さん (29日)



今月の結婚記念祝い 今野紀仁 親睦活動委員長

- 松橋好徳さん (29日)

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	21	63.64%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席2名)	11	100.0%

本日の食事メニュー：弁当

ポール・ハリス・フェロー認証

小松弘二会員は3回目、太田秀夫会員は2回目のポール・ハリス・フェローに認証されました。



【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 宮田秀昇さん…9月で63歳になります。”人生、常にこれから”と自分に言い聞かせこれからは頑張ります。
- 鋤柄純忠さん…喜寿です。喜びです。感謝です。もうしばらくお付き合いをお願いします。
- 佐藤邦裕さん…早69歳。70歳目前。健康に注意してあと10年頑張ります。

目標 1,266,000 円

人頭分担金 14,000 円

本日のご芳志 6,000 円

トータル 484,000 円

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・地区大会開催の案内並びに参加のお願い
- ・第2回第1分区分会会長・幹事会開催の案内
- ・大野ガバナーから公式訪問の御礼
- ・第1分区ロータリークラブ親睦ゴルフ大会の案内
- ・環境保全フォトコンテストの案内
- ・米山事業 出前卓話の案内
- ・日立市美術展覧会オープニングセレモニー及び表彰式出席のお願い
- ・米山梅吉記念館 館報 秋号の送付

【第3回理事会報告】

【議題】

- 1.8 月度出席率 100%
- 2.10/27 (木) 地域ボランティア、優良従業員表彰の開催と推薦について
- 3.新会員研修会並びに情報集会開催の有無について
4. インターアクト年次大会収支報告
- 5.地区大会 選挙人 (代議員) の選出について

【審議結果】

- 1.8 月度出席率 100.0% : 承認  
 会員数 35 名 (免除除く)
- 8/4 34 名、出席 24 名 M10 名、出席率 100.0%
- 8/18 33 名、出席 23 名 M10 名、出席率 100.0%
- 2.地域ボランティア依頼 : 承認  
 大みか、水木、久慈・坂下地区コミュニティ推進会  
 優良従業員依頼 : 承認 サービス&プラットフォームビジネスユニット 大みか事業所・日立産業制御ソリューションズ・日立ドキュメントソリューションズ・日立研究所 など

3. 新会員研修会並びに情報集会開催 保留 :

情報広報委員会・親睦活動委員会と相談する。

4. インターアクト年次大会収支報告 : 承認

収支残額と大会当日の募金額 52,011 円を併せ、ウクライナ支援として茨城キリスト教学園に寄付する。

5. 地区大会 選挙人 (代議員) の選出 : 承認

山口憲生会長

その他

太田理事 : 当クラブに IT 委員会を設置してはどうか。

本日のプログラム

地区研究会・セミナー報告



クラブ奉仕研究会 鈴木崇久委員長

7月9日(土)に地区クラブ奉仕研究会に出席しました。当日は山口憲生会長と佐藤泰子幹事と乗り合わせてつくば市のホテルグランド東雲に行きました。午後1時、大野治夫ガバナーの開会の言葉と点鐘から始まりました。基調講演は第2750地区の東京広尾 RC の服部洋子様「DEI とクラブ活性化について」が行われました。その後、地区内の委員からのクラブ戦略計画等の発表があり「クラブが地域社会に大きなインパクトをもたらす方法を考える上で戦略計画立案ガイドをぜひ活用してください。」とのことでした。



R 財団研究会 佐藤邦裕副委員長

7月16日(土)ダイヤモンドホールにて、ロータリー財団・社会奉仕委員会合同研究会が開催され額賀財団委員長に代わり参加して参りました。記念講演は宇都宮 RC 飯村順一様のテーマ「ロータリー財団の変化」さらに千葉 RC 梶原等様テーマ「世界ポリオデーに向けて」。さらに資金管理推進委員の斉藤章様による「ロータリー財団寄付について」の講演内容は、ロータリークラブの使命それは「ロータリアンが人々の健康、状況を改善し教育への支援を高め貧困を救済することを通じて世界の理解、親善、平和を達成出来るようにすること」です。ロータリーの活動を継続していくうえで、皆様の財団への深いご理解と温かいご支援が大きな力となっています。ロータリー財団は皆様の寄付

を資金とし、色々な奉仕活動に活かされます。

皆様の「プログラム参加」によって「地区活動補助金」が活用され海外でのプロジェクトには「グローバル補助金」として活用されております。

寄付金は地元のニーズ、世界のニーズに応じ地元や国際社会に大きく貢献しています。寄付金を集める時期については 11 月の財団月間 7 月～ 12 月の上半期では確定申告までにロータリー財団より領収証も受け取れ税制上の優遇措置が受けられます。ロータリー活動は単なる理念の提唱ではなく実践哲学であること、奉仕するものは行動しなければならぬ善意と奉仕の心がなければただの社交クラブです。年次寄付 150 ドルポリオ寄付 30 ドル会員 1 人当たり 180 ドル等宜しくお願ひしますとの事でした。



国際奉仕研究会報告

鈴木 稔委員長



青少年奉仕研究会報告

山口彰二委員長



職業奉仕セミナー 木村昌永委員長

1. 開催日時：2022 年 8 月 6 日(土)
2. 場所：ホテル日航つくば及び Zoom オンライン

当初はリアル会場のみでしたが、コロナの感染拡大を受けて Zoom 参加もできるようになり、Zoom で出席しました。リアル会場出席は 20 人程度、オンラインで 52 人出席。

3. 講演題目

- (1) 「職業奉仕ということ」を読んで  
地区職業奉仕総括委員長 鈴木富士雄氏  
(つくば学園)
- (2) 人を幸せにする経営～大変化に負けず社員を大切に、業績が良い会社～  
元法政大学大学院教授・経済学者 坂本光司氏
- (3) 幸せの連鎖を生み出す『松川一家の経営』  
～社員とその家族と共に～  
松川電気株式会社 代表取締役 小澤邦比呂氏

4. 講演内容

・上記(2)(3)は元法政大学大学院教授の坂本先生と、その門下生の松川電気社長、小澤さんの講演。

小澤社長もロータリアン。職業奉仕委員会の活動で坂本先生と知り合ったとのこと。

・坂本先生は中小企業の研究が専門。著書多数。日本全国の 8,000 社を回ったが、うち 800 社は素晴らしい会社。8,000 社のうち、81%の会社が価格競争に巻き込まれている。価格競争に巻き込まれてはいけない。

・小澤さんの会社は静岡県浜松市の電気工事業。下請は 10%、残りは元請でやっている。価格競争に入らないため、ゼネコンの下請はやらない。無借金、手形もない。65 歳定年だが実質的に定年はなく、65 歳を超えても賃金を下げない等の「社員を大事にする経営」の実例紹介があった。

5. 所感

少々古いですが、『熱狂する社員』というアメリカで出版されて日本語訳も出た本があります。社員のやる気が企業の力を決めるので、人間尊重の経営が大事なのだという内容です。同じ文脈で中小企業を研究している先生と、それを実践している経営者の講演だと感じました。資料は電子データでもらっているので、お声がけいただければメールで送付させていただきます。



米山記念奨学会合同セミナー

古川英希委員長

8 月 28 日 (日)、つくば山水亭にて行われた今年度の米山記念奨学会合同セミナーに Zoom にて参加しました。

セミナー内容としては、米山事業、昨年度の 2820 地区の寄付金状況の説明に引続き、6 月に実施された、奨学生による米山梅吉記念館研修旅行の報告が行われ、今後の奨学生の日本文化体験研修の説明がありました。今年 9 月 17 日に両国国技館にて開催される大相撲見学、10 月に笠間稲荷神社見学等を実施する予定です。

また、奨学生に対して 10 月の米山月間に向けて、世話クラブ、準世話クラブで行う卓話についての卓話教育を 2 年継続奨学生よりお話しいただきました。当クラブでも 10 月 13 日にはハニフさんの卓話を予定しております。新型コロナウイルスの感染拡大状況により、ロータリー活動が未だに制限されておりますが、今後もハニフさんにクラブ行事に参加していただき、会員の皆様と親睦を深められればと思います。

社会奉仕研究会

照沼明美委員長

(佐藤邦裕会員 代読)

7月16日(土)筑西市にて社会奉仕研究会が行われました。その内容についてご報告させていただきます。土浦ロータリークラブ社会奉仕委員長の高橋宏成さんから地区補助金を活用した奉仕活動の事例としまして、「ロータリーの台所」をテーマに発表がありました。高橋さんはご自身が代表を務める高齢者福祉施設(グループホーム)で、利用者の健康増進のため畑を作りたいと思っていました。ただ、職員と高齢者の両者だけでは畑を作ることは難しいと思っていました。そこで、ロータリアン、ローターアクト、米山奨学生、地域の学生の力を提供してもらえればと考え、地区補助金活用事業として「ロータリーの台所 in 土浦(体験型子ども食堂)」を策定して、本年度事業として実行することとしました。事業は7月からスタートし畑づくり、野菜の収穫、ピザ窯を作り、みんなでピザを食べて地域の交流を図る計画です。

以上のような土浦ロータリークラブの発表を聞かせていただきました。ちょっとご自分の施設で畑を作ろうと考えていたところに、旨くロータリアンや地域の方の力を借りて地区補助金を活用した事業を行うという素晴らしい発表でした。日立港ロータリークラブでもこの話にヒントを得てできることがあれば皆様と考えて行きたいと思いました。本日は欠席して申し訳ございません。

第25回インターアクト年次大会報告

インターアクト委員長 太田秀夫

8月21日(日)にRI2820地区インターアクト委員会が主催、ホストクラブが茨城キリスト教学園高等学校、そして当クラブがスポンサークラブとなり第25回インターアクト年次大会が開催されました。会場の同校講堂には、水戸女子高校、水城高校、県立水戸農業高校、つくば国際大学東風高校、県立下館工業高校のインターアクター、そして地区、各スポンサークラブのロータリアンなど約150名が一堂に会しました。大会テーマは、ウクライナ情勢を受けて「World Peace Begins with Us ~世界の平和は私たちから~」として、ウクライナ出身の茨城キリスト教大学文学部のジャブコ・ユリヤ講師と今年の4月に来日した留学生マルタ・イリョさんに「ウクライナの戦争を考

える」と題して基調講演をいただきました。午後には異文化プレゼンテーションとして県内の5人の外国人講師から各国の紹介をいただきました。当クラブ会員の皆様の積極的なご協力もあり成功裏に終わることが出来ました。

第25回インターアクト年次大会の記録



ハンドベル演奏



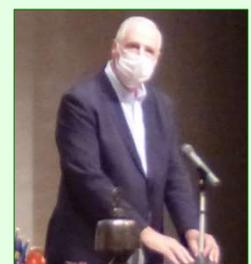
司会 加藤らら副会長



開会の言葉 石井なみ美副会長



点鐘 和田光会長



歓迎の言葉 ランドルW ヴォス校長



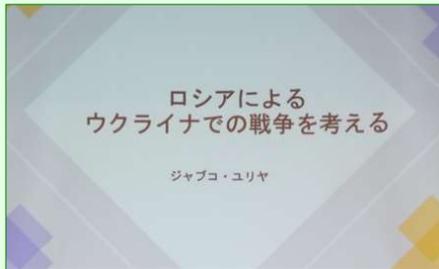
挨拶 大野治夫ガバナー



挨拶 鈴木崇久会長エレクト



挨拶 齋藤圭昭インターアクト委員長



基調講演 講師 ジャブコ・ユリヤさん



ウクライナ留学生 マルタ・イリヨさん



日立オリジンパーク見学



講評 川止美智子青少年支援アドバイザー



次年度ホスト校挨拶 水城高校IAC 会長



午後の部 異文化プレゼンテーション 講師の方々



茨城キリスト教学園IAC

ご協力ありがとうございました



今週の会場の花

“ケイトウ”

花言葉：(男の) おしゃれ



閉会点鐘 山口憲生 会長

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

- ◆ **入会歴の若い会員研修会・情報集会**  
(予定) 9月22日(木) 場所未定
- ◆ **日立港 RC 秋の休日親睦ゴルフコンペ**  
10月10日(月祝) グランドスラム CC
- ◆ **地域ボランティア・優良従業員表彰**  
10月27日(木) 12:15~ 美かの締め切り 10月13日(木)
- ◆ **地区大会**  
10月29日(土) ~10月30日(日)  
登録締め切り 9月16日(金)

今後のスケジュールのご案内

- 9月15日(木) 12:30~ 美かの「茨城キリスト教学園 IAC 会長・副会長委嘱式」
- 9月22日(木) 12:30~ 美かの「会員卓話 勝山起一さん」
- 「私と RC 今野紀仁さん」
- 9月29日(木) 休会
- 10月6日(木) 12:30~ 美かの「テーマ卓話② シンパシー・同感・共感」

編集後記

2016年に「茨城県北芸術祭(KENPOKU ART 2016)」が開催されました。茨城県北の32の会場で、9月から11月の約2か月間が会期でした。トータルの来場者は77万6千人で、32会場のトップが日立駅の9万6千人、2位が袋田の滝トンネルの5万6千人でした。当初は冷やかしの程度でしたが、次第にどっぷりはまり、結局毎週末のように歩き回って全会場をかみさんと二人で巡りました。展示物も面白いものが多かったのですが、地元にながら知らない場所が多数あり、この発見も愉しみのひとつでした。本来は3年毎の開催の計画で、第2回が2019年の予定でしたが、効果に疑問があるとの判断で中止されたのはご存知のとおりです。寂しさが募っていたところ、先日当クラブでも支援した「おおみかアートプロジェクト星と海の芸術祭」が開催されました。東代表始め何人かの出展者の方に例会に来ていただきましたので、展示されている作品を見ながら顔が思い浮かび、すごく親近感がわきました。自慢の脚力で自転車を漕いで島田歯科医院のネームを高速回転させ、大いにPRしたことを報告します。地域を元気にする仕掛けはいろいろあるのかもしれませんが、結果をおそれず、まずはやってみることが大事だと思います。(き)

発行：日立港ロータリークラブ (翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌栄 五来美奈

平田伸一 中野紀子 (事務局)

URL：<http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail：[info@hitachi-ko-rc.com](mailto:info@hitachi-ko-rc.com)